

JAXA の JEM 運用の横山サブマネが資料 13-2-1(山崎飛行士準備状況)を、小沢 有人.....保証室長が資料 13-2-2(同・安全確認結果)を、両者合わせて 20 分程で説明した後、1 分半の短い質疑応答があった。

(20 秒程、誰の発言も無かった。)

池上委員長:あれですか、今回は一時的に女性が3? ...4人?

JAXA 横山:そうですネエ、此のフライトで3人飛んでいきますから、軌道上には女性居ませんから、3人<sup>1</sup>と云う事になります。

池上委員長:あ、3人ですか。あ...で、日本人が2人と。

JAXA 横山:日本人が2人と云うと云う事で。因(ちな)みに野口が、昨日百日目を迎えました。

池上委員長:アアー。

森尾:野口さんは何時かえってくる予定ですか。

JAXA 横山:今は6月2日の予定ですネ。

池上委員長:で、現状では一応予定通りと云う事なんですネ。

JAXA 横山:はい、予定通り...

池上委員長:それで最後に勿論チェックがあって、其処でと云うムニャムニャ。

JAXA 横山:はい、まあ、基本的には二日前に最終的な GO を出せば、あの、進むと云う事なんですけど、あとまあ天候と。

---

<sup>1</sup> 委員会の途中、議題4の説明開始の前に、JAXA 横山サブマネが発言し、シャトルの2日後で打上げられるソユーズに女性飛行士が一人搭乗するので、其の時点で4人になると云う説明があった。

池上委員長:では、予定通りいく事を...ホホホ...期待して居りまして<sup>2</sup>、どうも有り難う御座いました。

---

<sup>2</sup> JEMの構成品が打上げられる前に安全審査が行われた記憶がある。自国の輸送システムを使うのではないが、JAMよりも貴重な人命を託すのに、「期待して居ります。」だけで済ませて安全審査は行わないのだろうか。勿論、安全部会で何を審査すれば良いか、大いに悩む事になるのは予想できるが、其れが安全部会を開催しない理由だとすれば安全審査の基本的考え方に疑念を抱かなければならないと思う。